



芦屋市の部活動の位置づけについて

芦屋市教育委員会
学校支援課

PART 01

部活動の意義 について

- ・ 教育活動の一環である。
- ・ 自らの興味や関心等を深く追求する。
- ・ 学年や学級の枠を超えて、仲間と切磋琢磨する。
- ・ 楽しさや喜びを味わい、豊かな人間関係を築く。
- ・ 技術や体力を向上させる。
- ・ 規範意識や社会性、自主性を高め、
豊かな人間性を育む人間形成に資する活動。





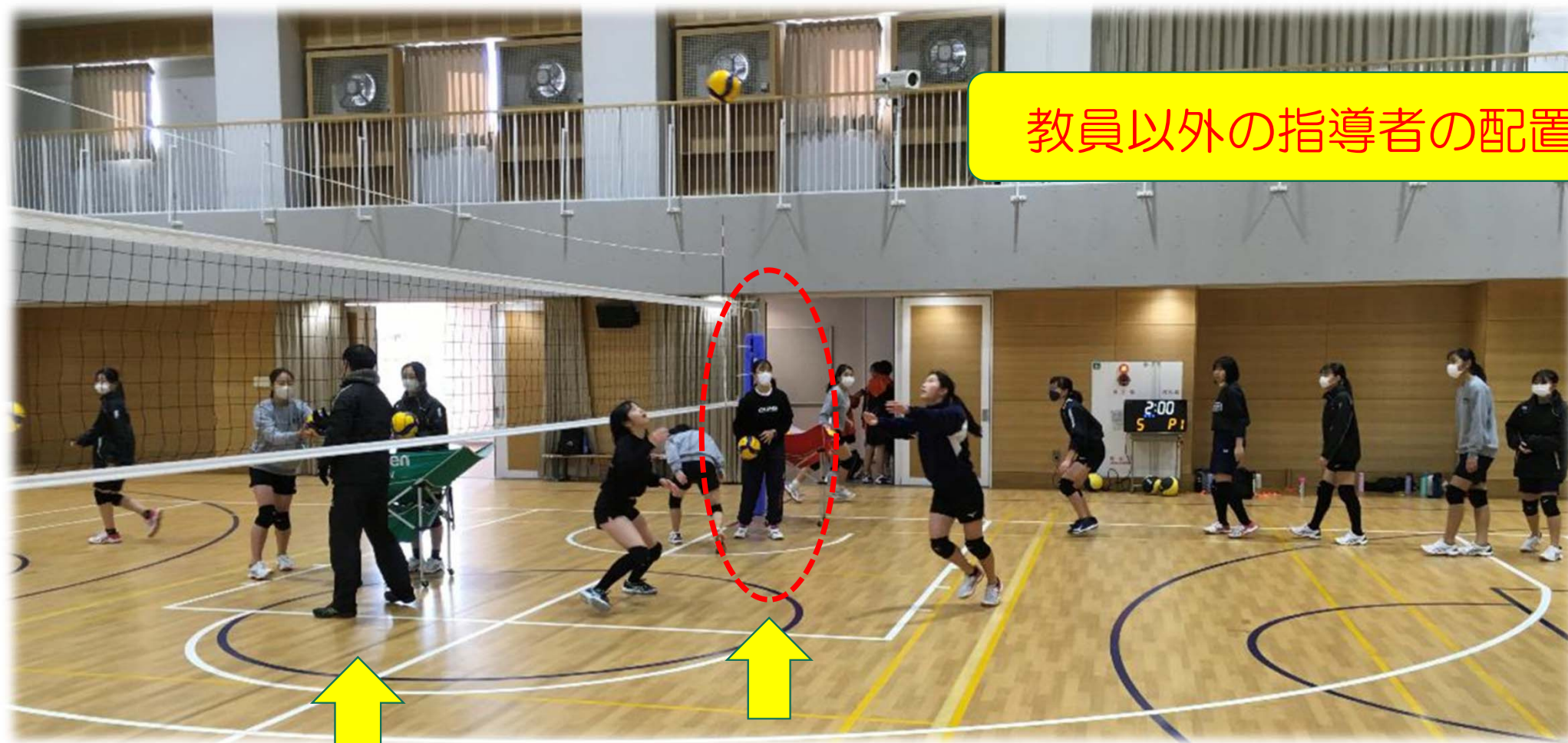
PART 02

部活動の体制整備 について

部活動の体制整備について

- (1) 部活動の方針の策定
- (2) 部活動を支える環境の整備
 - ・複数顧問制度
 - ・部活動支援員や部活動技術指導者の登用
 - ・部活動の円滑な実施を目的とした市の部活動推進事業
- (3) 指導体制の確立
 - ・活動時間、週当たりの休養日の設定
 - ・安全管理と事故防止

教員以外の指導者の配置



顧問（専門はサッカー）

外部指導者（大学生）

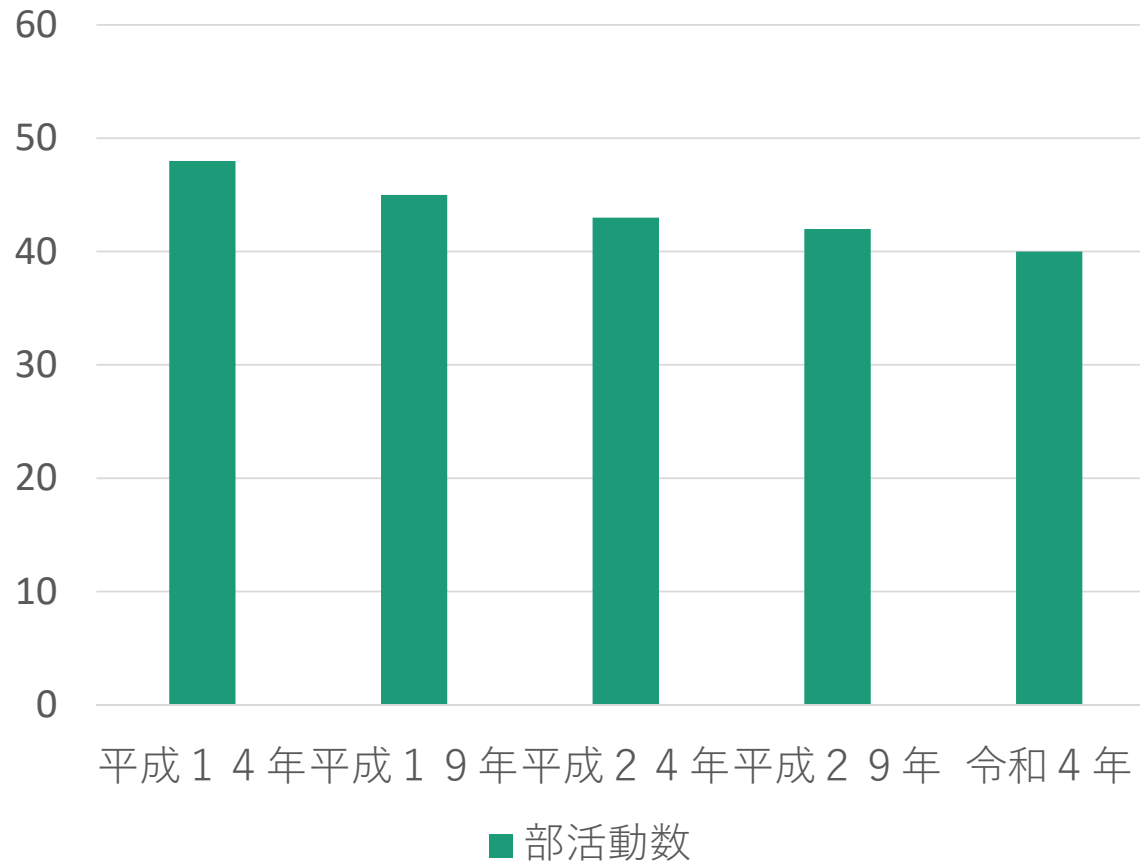
PART 03

芦屋市の部活動の 現状について

芦屋市の部活動の現状について

- ・ 市立 3 中学校 （狭い市域：面積18.57km²）
- ・ 生徒数 1,538人 （令和6年5月1日現在）
- ・ 部員数 1,241人 （令和6年6月現在）
 - ▣ 入部率全生徒の約80%
- ・ 40部活動（運動部28・文化部12）
- ・ 教員の配置（全員顧問制）
- ・ 外部指導者（顧問不可）の配置 . . . 10人
(7人枠)
- ・ 部活動支援員（顧問可）の配置 . . . 3人

芦屋市立3中学校の部活動数の推移について



令和6年度 部活動一覧

運動部

陸上 剣道 バスケットボール
サッカー バレーボール 卓球
ソフトテニス 軟式野球

文化部

茶道 美術 吹奏楽
合唱 E S S 技術

平成14年から令和4年の20年間で8部活動が減少。

少子化による生徒数の減少について

芦屋市小中学校児童生徒数・学級数推計調査票

令和6年度5月1日推計値から作成

	H23	R1	R5	R6	R12
中学生（長欠含）の人数			1,641	1,564	1,361
中学校3年生の人数			541	519	434
中学校2年生の人数			518	557	436
中学校1年生の人数			552	462	429
小学校6年生の人数			698	757	594
12歳の人数			876	837	734?
6歳の人数			728	734	470?
0歳の人数	817	565	513	470	?
中学校クラス数			57	53	49

令和5年度の小学校6年生698名 ⇒ 令和6年度の中学校1年生462人（進学率約65%）
 令和12年度の小学校6年生594名 ⇒ 令和13年度の中学校1年生392人【見込み】（進学率約65%）
 ※令和6年度と同じ割合と想定して算出

PART 04

部活動の総括① 生徒アンケート

実施について

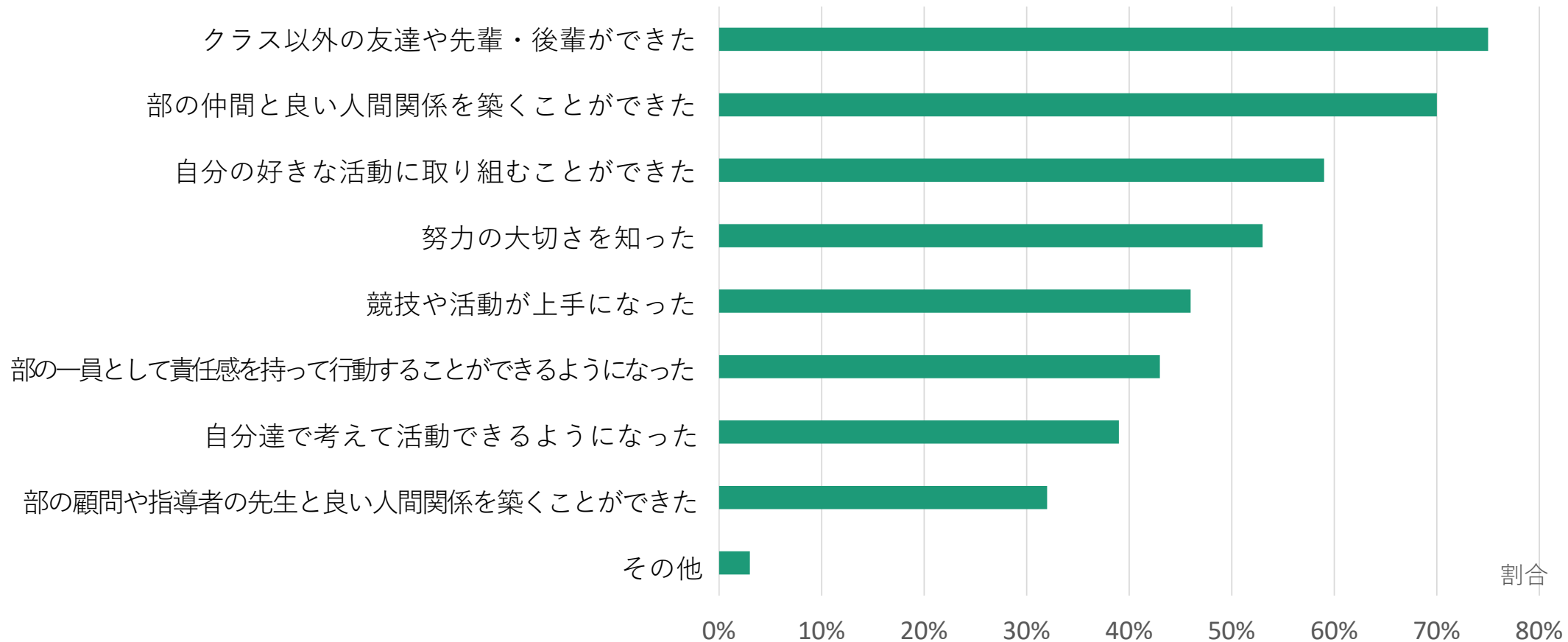
実施時期：令和7年3月実施

対象：中学校1・2年生対象 662人

回答率：67%

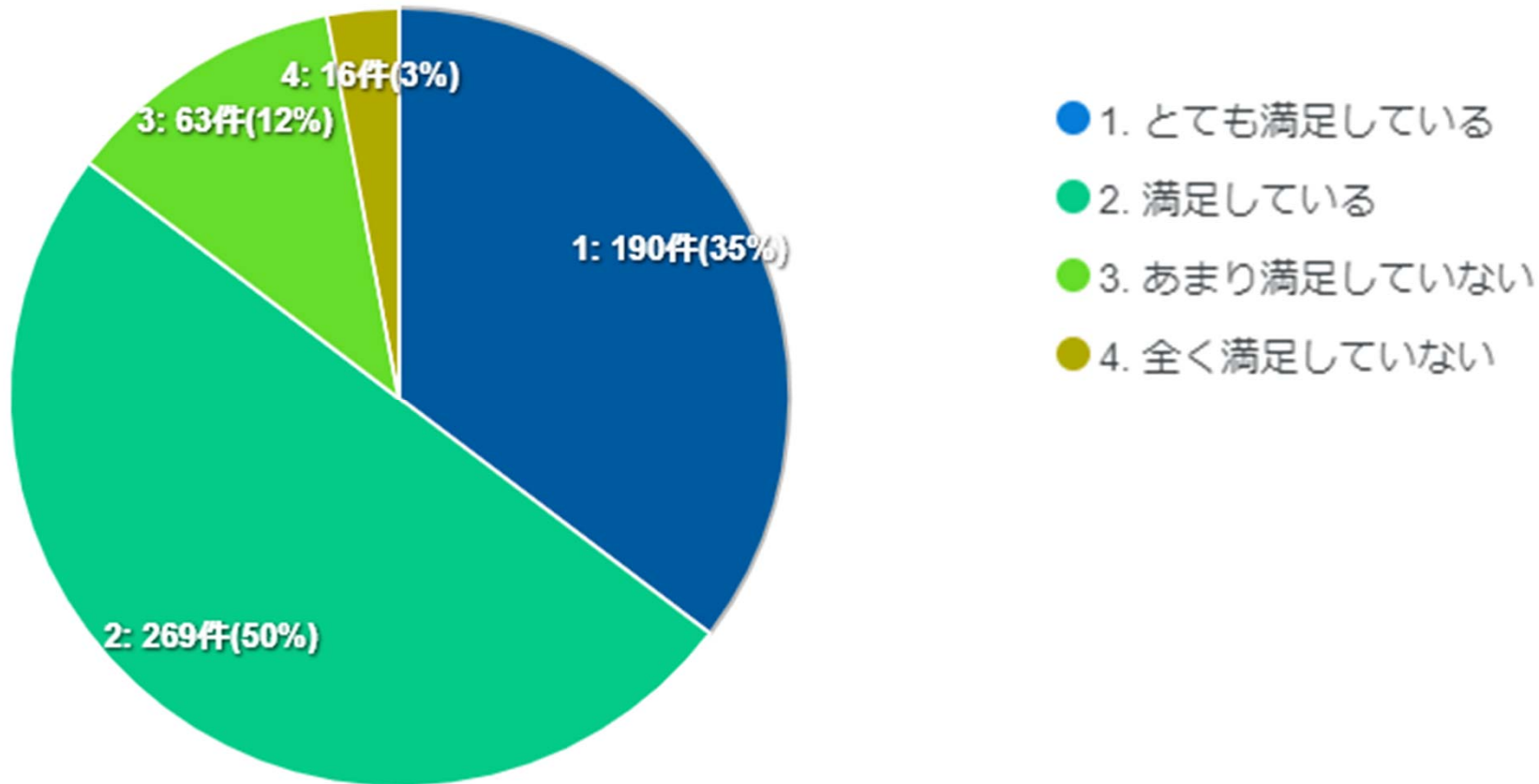
生徒アンケート結果 ①

Q Ⅰ 部活動に参加してよかったこと



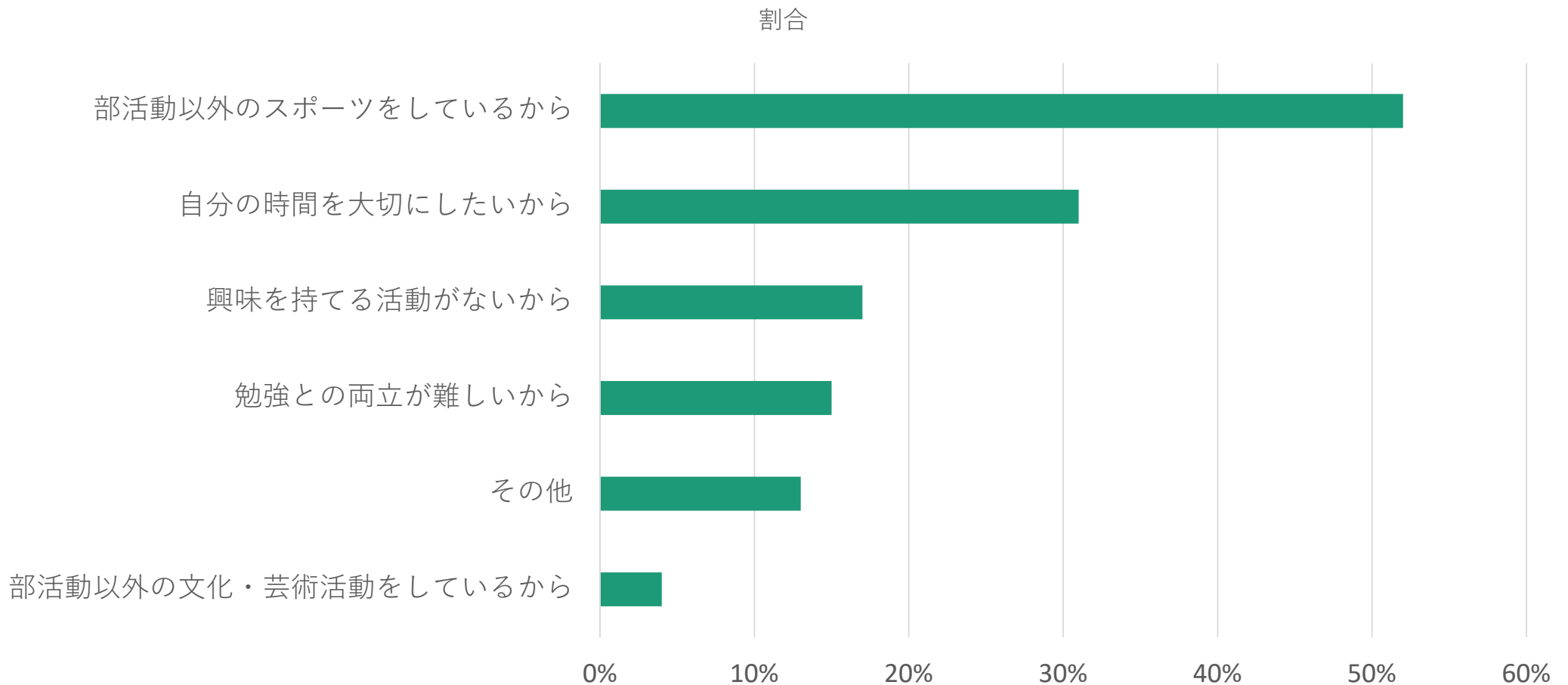
生徒アンケート結果 ②

Q2 現在あなたが所属している部活動の満足度を書いてください。



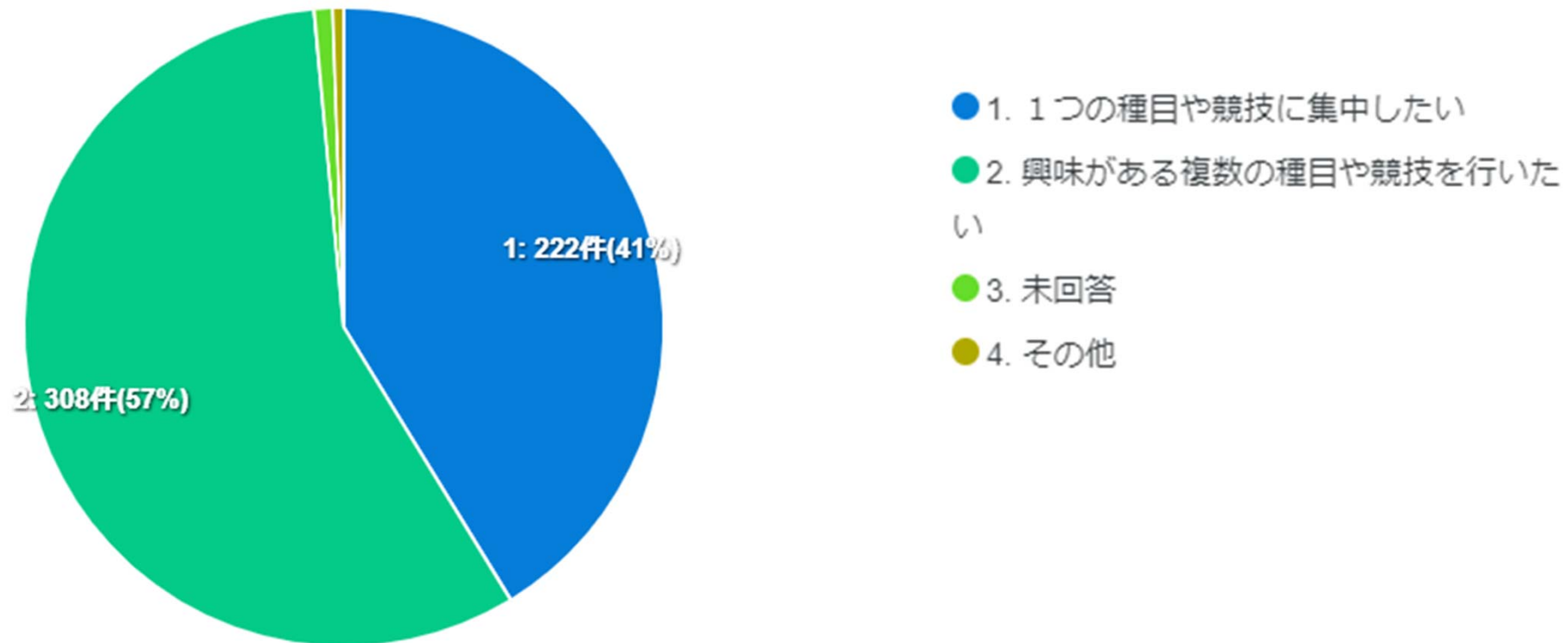
生徒アンケート結果 ③

Q3 学校の部活動に参加していない理由を書いてください



生徒アンケート結果 ④

Q4 スポーツ・文化芸術活動への取り組み方についてどのように考えていますか。
例えば、あなたがサッカー部に所属しているとして、サッカーだけに集中したいと
考えますか。または、サッカーに取り組むと同時に、別の運動や、ピアノや書道
などの文化・芸術的な活動にも取り組みたいと考えますか。



部活動の意義の総括（生徒アンケート結果より）①

- ▶部活動に対して「非常に満足している」若しくは「満足している」と回答している生徒が多い。
- ▶部活動に参加してよかったことでは、
 - ・クラス以外の友達や、先輩・後輩と関わることができた
 - ・人間関係を築くことができたこと
 - ・自分の好きな活動に取り組むことができた
 - ・努力の大切さを知ったと半数以上の生徒達が感じている。

部活動の意義の総括（生徒アンケート結果より）②

▶部活動に対して、約１５％の生徒が満足していない状況。

▶部活動に参加していない理由として、学校外でスポーツや文化的活動を行っている生徒や、「自分の時間を大切にしたい」という生徒もいる。一方で「興味を持てる活動がない」といった理由も挙げられている。

【参考】現在部活動がなく、生徒達が取り組みたい活動上位５位

①調理 ②バドミントン ③eスポーツ ④ダンス ⑤水泳

▶また、興味のある複数の種目や競技を行いたいという生徒も全体の約６割を占める。

PART 05

部活動の総括② 地域展開へ 引き継ぎたい理念

- 1 学年や学級を超えた交流を促進し、様々な年齢層と触れ合うことで多様な価値観に触れる活動に
- 2 自分で活動内容を選択し、自分のペースで参加できる活動に
- 3 活動（体験）を通して、成長が実感できる活動に